



このコーナーに掲載する記事、例えば、身近なできごとや、学校・園・サークル活動などを、事前に情報企画課までお知らせください。皆さんからの情報をお待ちしています。

▲和やかな雰囲気地域について語り合う



## 子育てを支え合おうよ！

ママ友の輪をつなぐ  
BeHappyサロン



▲子育てについて気軽に相談し合えます

4月25日、乳幼児をもつ母親が出会い交流する会「BeHappyサロン」が、米ノ庄公民館で開かれました。

このサロンは子育ての工夫や楽しみを気軽に話し合える友だちを作ろうと、米ノ庄公民館が主催した「子育てが楽しくなるベビー講座」の参加者が企画しました。

この日、参加者は旬のイチゴを食べながら、子どもの発達や父親の子育て参加、保育園に関することなどを話題にし、楽しそうに情報交換していました。

米ノ庄公民館では、同年代の子どもをもつ母親が支えあいながら、楽しく子育てに向きあえるようサークルやサロン、ベビー講座を開いています。詳しくは米ノ庄公民館(☎56-4780)へお問い合わせください。

## 災害から地域を守るために

小型動力ポンプ付軽積載車を導入



▲使い方を皆で確認

3月30日、松阪市消防団嬉野方面団本部上小川班に、老朽化した小型動力ポンプ付軽積載車に換え、新たに四輪駆動の小型動力ポンプ付軽積載車を導入しました。

4月7日には上小川班の消防団員11人が参加し、地元の中村川で、新たに導入した小型ポンプ付軽積載車を使って放水訓練を行い、火災などの災害や緊急時に備えました。

今年度、上小川班には、はじめて女性団員2人が加わりました。上小川地区は過疎化・高齢化の進む地域ですが、女性団員も、地域の安全安心を守るため、消防防災活動に取り組みます。

## 地域独自のテーマで活発に意見交換

松尾まちづくり協議会と市長が懇談



▲活発に意見を交換

4月19日、松尾市民センターで市民懇談会を開催し、松尾地区まちづくり協議会と市長が地域の課題などについて語り合いました。

市民懇談会は、今年度から来年度にかけて、すべての住民協議会で地域が独自に設定したテーマについて話し合い、課題の解決策を導き出したり、地域の意見をまちづくりや市政に活かしたりしていこうとするものです。

この日は、協議会や市職員など約60人が参加し、松尾地域の歴史や文化、まちづくり協議会の活動をまとめたビデオを見た後、コミュニティ交通をはじめ、世代間交流やいきがづくり、防災に関することなどについて活発に意見を交わしました。





▲新芽はどれかな？

## 山と海の旬を満喫

### リバーサイド茶倉で新茶祭



▲お茶摘み体験者で賑わう茶畑

5月3日、飯南町粥見のリバーサイド茶倉で新茶祭が開かれ、市内外から約110人が参加しました。

はじめに参加者は、リバーサイド茶倉近くの茶畑で新茶のお茶摘みを体験。慣れない手つきながらも地域の人たちに教わり、たくさんの新芽を摘み取りました。その後、参加者はリバーサイド茶倉に戻り、お茶の新芽の天ぷらや紀北町で水揚げされた新鮮なカツオ、また、新茶を使ったカツオ茶漬けに舌鼓を打ちました。その他、お茶のおいしい淹れ方教室も開かれ、淹れる温度によって味が変わる深蒸し煎茶を味わうなど、飯南地域の旬を楽しんでいました。

## 笑顔の花咲く見守り活動

### 松阪市消防団飯南方面団 高齢者訪問



▲なにげない会話にも笑みがほころぶ

4月8日から26日まで、高齢化の進む飯南管内で松阪市消防団飯南方面団ひまわり分団が、高齢者宅45件を訪問し、防火や振り込め詐欺、空き巣被害の防止を呼びかけました。

これは、高齢者を見守ろうと平成17年に飯南方面団が始めた活動で、団員の減少によりしばらく活動を休止した時期がありましたが、平成26年、女性団員2人の入団をきっかけに民生委員や松阪地区広域消防組合の協力を得て活動を再開しました。

訪問を受けた高齢者は、「最近が高齢者を狙う犯罪など、不安なこともあるので、こうやって来てもらえるとうれしく思います。」と話し、団員の訪問を喜んでいました。

## 春を楽しむ お花見ウォーキング

### 波瀬むらづくり協議会



▲桜の中をウォーキング

4月12日、波瀬むらづくり協議会が、健康づくりをしながら、満開の桜を楽しんでもらおうと、お花見ウォーキングを開催しました。市内外から約70人が参加しました。

参加者は、波瀬ゆり館を出発し、小川のせせらぎを聞きながら道中にある33体の観音像を巡り、目的地の泰運寺まで約40分のウォーキングを楽しみました。泰運寺では、満開の桜と散策を楽しむとともに、波瀬むらづくり協議会が振舞ったぜんざいや旬の山菜入り味噌飯、グレンソを使ったお吸い物など、山里の味に舌鼓を打ちました。

参加者の1人は、「素晴らしい景色と桜がとても心に残りました。友達を誘って来年も参加します。」と話していました。